

すみれ乳児院だより92号

2024年4月1日発行

大阪市旭区新森7丁目8-16

発行責任者 施設長 菅野由美子



4月より北口院長の後任として、着任しました菅野由美子です。どうぞよろしくお願いいたします。

出会いと別れの季節と言われる春。新年度を迎えいろんな意味で新しいことにチャレンジするいい機会の時でもあります。ここ数年子どもたちの生活もコロナ感染症の対策に明け暮れ、その時を経てこれまで通りなのか新しく変化させていくのかをしっかりと考え進んでいきたいと思えます。

子どもたちを取り巻く情勢は刻々と変化をしています。2023年に「子ども家庭庁」が発足し、その中心になるものは子どもたちが社会参加できる社会をめざし、子どもたちの最善の利益を守ることです。特に乳児院において、様々な生育環境の中で暮らす子どもたちと家庭への支援の推進と合わせて、里親や特別養子縁組の制度の啓発活動など里親支援機関などを通じて取り組みが進められています。子どもたちは次世代を担っていく社会の宝であり希望

です。子どもたちが自分らしく健やかに成長できる社会にするためには私たち大人が、子どもたちの思いに寄り添い、社会全体で子どもたちの健全な成長が育まれることはこれからもますます必要です。子どもたちが安心して暮らしていけるようその育ちを様々な面からサポートすること、お母さん、お父さんの子育てがしやすい社会にしていけることなど、この「子ども家庭庁」が支援の一翼を担ってくれればと思います。

今年の干支は「甲辰（きのえ・たつ）」です。「甲辰」は「春の日差しがあまねく成長を助く年」になるようです。春の温かい日差しが大地のすべてのものに平等に降り注ぎ、影になっていた部分にも日が当たり、報われ、大きな変化が起こる可能性もあるとの事。これから迎える春に日の光が差し続くことを願っています。

すみれ乳児院 施設長 菅野由美子

鹿 巣立つ子どもたちへ

生後5日のAちゃんとお会いしたのは暖かい春の風が気持ちいい季節でした。小さな身体からとても大きな声を出してミルクをねだるAちゃん。小さな手で指をきゅっと握ってくれた感触は今でも思い出します。ミルクやごはんをたくさん食べてすくすくと、笑顔がとてもかわいい子に成長しました。お話が上手にできるようになってからは友達のように、おやつを分けてくれながらたのしく話をして一緒に笑い合ったのを覚えています。赤ちゃんの頃から一緒に過ごしてきたAちゃんとの時間は長いようであつという間。どんどんできることも増え、成長していくAちゃんを近くで見守ることができて、私自身もとても元気づけられ、毎日楽しく過ごすことができました。この春乳児院から巣立つことが決まった時は寂しい

気持ちもありましたが、Aちゃんが大好きな家族と一緒に暮らせるようになって本当に良かったです。Aちゃんにとってすみれ乳児院での生活が少しでも楽しい思い出の1つになっていますように、これからもたくさんの人に愛されて元気に過ごしていけることを願っています。Aちゃんありがとう。大好きだよ！



ももいろグループ 北出

乳児院と私

三島の郷（障害者支援入所施設）の方へ異動する事となりました。2020年春にすみれ乳児院の施設長として着任してから4年が経過します。ちょうど新型コロナウイルス感染症が流行している時期でした。これまで経験した事のない中でこの4年間、乳幼児の命と健康を守るため職員一同で踏ん張ってきたように思います。



すみれ乳児院憲章を軸とした子どもの養育の在り方や「子どもたちの育ちをどう育み、次につなげるか」と時間をかけて話し合ったり、まっすぐな気持ちで職員が子どもたちの事を考え接する姿には感動しました。又「子どもの人権を守る」という事を何度もなんども話し合い、学んできました。

すみれ乳児院で学んだ経験はきっと次の施設にもつながっていくと思います。これまでご支援頂きました保護者の皆様をはじめ地域や関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。今後ともすみれ乳児院を宜しくお願い致します。

(北口)



子どもたち、職員の方みんなとても優しく、暖かい雰囲気です。4年間働くことができました。子どもたちのことを思い、時には厳しく言うてしまうこともありました。名前を呼んでもらったり、「大好き！」と言ってくれることも増え、やり取りすることが楽しく過ごすことができました。離れるのは寂しいですが、新しいことに挑戦して頑張っていきたいと思えます。(徳田)



この度乳児院を離れ、新しい場に挑戦することになりました。7年間すみれ乳児院に勤め、子どもたちのたくさんの成長を共に見守れたことに感謝しています。大切な思い出を胸に留め、これからも子どもたちの健やかな成長と幸せを心から願っています。(酒井)



初めて小さな赤ちゃんに関わった時のこと、初めて担当児をもたせてもらった時の喜びと感動は今でも忘れません。子どもたちの成長を近くで見守るなかで感動し一緒に喜びあった9年間は私にとってかけがえのない思い出です。悩んだことや大変なこともありましたが、素敵な先輩後輩たちに囲まれながら働くことができました。(大谷)

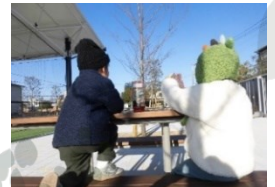
こどもの様子

あおグループは、子どもの入退所がほとんどなく、約一年間同じ 12 人のメンバーで過ごしました。あおグループの子どもたちは食べるのが大好きで、「今日の朝はパン？ごはん？」と聞いてくるのが日課になっています。子どもたちが「ご飯を食べることは楽しいことなんだ」と思えるように、「これ美味しいね」や「モグモグ上手にできるね」と声をかけたり、苦手なものに挑戦できた際は「食べられたね！頑張ったね！」とハイタッチをしたりします。今では、食べ終わった食器や使い終わったエプロンを自分でキッチンまで持ってきてくれる子どももいます。「自分でしたい」という気持ちをできるだけ尊重し、一人ひとりに合ったかかわりを大切にしました。

子どもたちは体を動かすことも大好きです。「お散歩行く？」と聞くと嬉しそうな顔で「行く！！」と返ってきます。一年前には、ハイハイや伝い歩きをしていた子どもも、しっかり自分の足で歩けるように

なりました。歩くところか、走ることもできたり、少しの段差であればジャンプすることもできます。芝生のある公園に行った際には、端から端までみんなで「よーいどん！」と、競争をします。たくさん体を動かし、たくさんご飯を食べ、たくさん眠る。どの場面を切り取っても、楽しい思い出で溢れていた一年でした。

この一年の子どもたちの成長は、ここには書ききれないほどたくさんありました。その成長を日々一番近くで見ることができたのは、私たち職員にとって何事にも代えがたい宝物です。



あおいろグループ 水野

新しい職員です。よろしくお願ひします。



4月よりすみれ乳児院へ副施設長として異動してきました。昨年度までは児童養護施設 高鷲学園で18年間、子どもたちと一緒に生活をしてきました。同じ児童養護の分野ではありましたが、支援する年齢が変われば知らないことも多く、わからないことばかりだと感じています。今後は、学びを重ねながらこれまでの経験を活かし、乳児院の子どもたち、保護者のみなさま、職員のために尽力したいと思っています。これからよろしくお願ひいたします。

(副施設長 野本)



小さい頃から保育士を目指しており、夢が叶って子どもの幼児期に関われることがとても楽しみです。乳児院という場で保育をしていく上で、何が子どもにとって幸せかを第一に考えて保育を行っていきたいと思います。

(保育士 大畑)

2年間アルバイトをさせて頂き、4月から正規職員として働かせて頂くことになりました。正規職員になり、子どもたちとできること(行事、散歩など)がたくさん増えるので、子どもたちとの一日一日を楽しく過ごしていきたいと思っています。

(保育士 久保)



短時間勤務職員として1年間アルバイトさせていただきました。これからたくさんの時間子どもたちと一緒にいられることが嬉しいです。散歩に出かけたり、公園で遊んだり、一緒に楽しい時間を過ごしたいです。

(保育士 實井)

すみれ乳児院の職員として働くことをとても楽しみにしていました。これから子どもたちや保護者の方、地域の方と関わりたくさんの笑顔を見たいと思っています。そのために常に相手に誠実に向き合い、そして楽しむ気持ちを持ち続けたいです。

(保育士 佐々木)



いただきます～す！

材 料 (4人分)

- いちご…200g
- いちご(飾り用)…4個
- ゼラチン…6g
- 水…大さじ3
- プレーンヨーグルト…200g
- 牛乳…大さじ3
- 砂糖…大さじ3

春いちごのパバロア

～子どもたちの大好きな
いちごを使った人気のスイーツ～



給食部 清水

作り方

- ミキサーにヘタを取ったいちごと砂糖を入れて、いちごがつぶれるまでかくはんする。
(仕上げ用に4分の1ほど分けておく)
 - 耐熱容器に水とゼラチンを入れ、電子レンジ(500W)に30秒かけて溶かす。
 - 1に牛乳、ヨーグルトと牛乳を加えてよく混ぜる。
 - 3に2を加えてよく混ぜる。
 - 4を器に入れ、冷蔵庫で3時間以上冷やし固める。
 - 1で仕上げ用に分けておいたいちごピューレをパバロアの上に均等かけ、半分にカットしたいいちごをかざる。
- ※4の工程で、加熱したゼラチンを混ぜる時に熱すぎるとゼラチンがだまになるので、50℃以下に冷ましてから混ぜてください。



すみれ乳児院HPは
こちらから!!



@SUMIRENYUJIN

Instagramはこちらから!
子育てに役立つ情報を写真付きで
分かりやすく載せています!

後援会からのお願い

すみれ乳児院が所属する「社会福祉法人 大阪福祉事業財団」は、大阪府下に24の福祉施設を持っています。大阪福祉事業財団後援会では、各施設の増改築や新しい施設づくりなどの事業に協力し、会員相互の交流を深めながら権利としての社会福祉の実現をめざす取り組みを進めています。

後援会では皆様の物心両面にわたるご支援・ご協力を必要としております。

*個人会員 1口 3,000円

*団体会員 1口 10,000円

既に入会して頂いている方は、2024年度の更新の手続きを宜しくお願いいたします。

大阪福祉事業財団を応援して下さる方は、すみれ乳児院(06-6958-6066)まで。

これからの3カ月の行事予定

- 4月 なし
- 5月 ももグループ園外保育
- 6月 昼食パーティー

保護者の方には後日詳しい
日程をお知らせします。



【編集後記】

あっという間に新年度がきました。毎年、年度末に担当する子どもの成長の記録を作成していると「もう1年が過ぎたのか」と改めて感じます。今年度も子どもたちと楽しく元気に過ごしていきたいと思います!

(成田)

